

## 題材名 「持続可能な食生活」

第1学年 B衣食住の生活 C消費生活・環境

### ◆本実践の概要

環境への配慮を考え、持続可能な食生活を送るために、自分の生活や消費行動等を振り返り、問題を見いだして課題を設定する。その課題の解決に向けて解決方法を検討し、自分の考えをまとめるとともに、他の生徒と意見を交流させ、多様な考えにふれる中で自らの学習を調整しながら課題解決を進めていく実践である。

### 1 題材の目標

- (1) 自分や家族の食生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。
- (2) 持続可能な食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) よりよい生活の実現に向けて、持続可能な食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

### 2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分や家族の食生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	持続可能な食生活について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現に向けて、持続可能な食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

### 3 学習活動に即した題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①自分や家族の食生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	①持続可能な食生活について問題を見いだして課題を設定している。 ②持続可能な食生活について実践に向けた計画を考え、工夫している。 ③持続可能な食生活について、実践を評価したり、改善したりしている。 ④持続可能な食生活についての課題解決に向けた一連の活動について、考察したことを論理的に表現している。	①持続可能な食生活について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ②持続可能な食生活について、課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ③持続可能な食生活について工夫し創造し、実践しようとしている。

### 4 題材について

本題材は、「B 衣食住の生活」の食生活の内容と「C 消費生活・環境」の環境に関する内容を関連させ、持続可能な社会の構築に向けて自分の毎日の食生活を見直し、問題を見いだして課題を設定して、その解決に向けて実践する学習である。私たちは、便利で豊かな生活を送っている一方で、環境に大きな負荷を与えてしまっている。持続可能な社会の構築の担い手として、この学習を通して、より責任ある行動をしようとする態度の育成を目指したい。

具体的な取組として、環境や社会に配慮した生活がなぜ必要なのかについて、習得した知識・技能を活用して、自分たちの生活を見直す活動を行う。「今現実で起きていること」を正しく理解し、「このままだとどんな未来になるか」を想定することで、自分事として意欲的に問題解決に向かい、生活の中で生かそうとする態度を育てていく。

## 5 指導と評価の計画 (・は指導に生かす評価、○は記録に残す評価を表す)

	ねらい・学習活動(抜粋)	評価規準(評価方法) ・指導に生かす評価 ○記録に残す評価		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	自分や家族の食生活と環境や社会の関わりについて理解する。	・知① (行動観察・ワークシート)		
2	持続可能な社会の構築に向けて、自分の食生活を振り返り、問題を見いだして課題を設定する。		・○思① (・行動観察) (○ワークシート)	・○主① (・行動観察) (○ワークシート)
3 4	自分が設定した課題に関する情報を集め、解決策を考える。グループ活動を通して、環境や社会のために自分ができることを改めて考え、工夫する。		○思② (ワークシート)	
5	これまでの学習を振り返り、レポートにまとめる。		○思③ (レポート)	○主② (レポート)
6	レポート発表を通して意見を交流し、これからの生活にどのように生かしていくか考えることができる。	○知① (ペーパーテスト)	○思④ (ワークシート)	○主③ (ワークシート)

## 6 本時の授業(第4時)

### (1) 本時の目標

- ・ 持続可能な食生活について実践に向けた計画を考え、工夫することができる。
- ・ 持続可能な食生活について、課題の解決に主体的に取り組もうとする。

### (2) 本時の評価規準

- ・ 持続可能な食生活について実践に向けた計画を考え、工夫している。【思考・判断・表現②】
- ・ 持続可能な食生活について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度①】

### (3) 本時の実際

過程	主な学習活動と生徒の反応	評価と配慮事項
つかむ5分 考える10分	<p>1. 本時の学習課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>環境や社会のために自分や家族ができることを考えよう</p> </div> <p>2. 環境や社会のために自分や家族ができることを個人で考える。</p> 	<p>・ 前時の学習(自分が設定した課題に関する情報を集めよう)について確認する。</p> <p>・ 環境や社会のために自分の生活の中で自分や家族ができることを具体的に考えるように助言する。</p> <p>○思②(ワークシート) ・主①(行動観察)</p>

深める  
30分

3. グループで話し合い、環境や社会のために自分や家族ができることを考える。



5. 解決策（持続可能な社会を目指すために、自分や家族にできることはなんでしょう。）

家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を2割減らす  
年間約240kgのCO<sub>2</sub>の削減、年間で約11000円の節約  
環境にやさしい買い物をする  
必要な物を必要な分だけ買う  
余った料理を作り変える  
賞味期限と消費期限の違いを知る  
リサイクル用品を選ぶ

5. 解決策（持続可能な社会を目指すために、自分や家族にできることはなんでしょう。）

・買い物をするとき、自分が食べれる量を考え、買う。  
・食べたいものをたくさん買うのではなく、食べれる量を買う。  
・給食などよそ、でもうものは最初に「少なくて」という。  
・食べれるときは進んであがりする。  
・食べる量を調節する。 ・何が買うときは少なめにする。  
・災害のときのために買ってある食品の消費期限、賞味期限を確認して近いものがある、たら食べるようにする。  
・買い物をするとき、家に帰ってすぐ使うものほどできるだけ賞味期限が近いものを買う。  
⑩ 必要な物だけ買う、賞味期限の確認、在庫の確認をし、ハッとする、ご飯を残さないようにする、食べられる量を買う、買う物をメモしていく、



⑪ エコバックをまつ、  
プラゴミを分別する  
食べ残しを減らす  
輸入したものを買わない、  
日本のものを料理する。

4. グループで出した意見を全体で共有し合う。

5. 自分がこの1ヶ月でできる実践を考える。

日本(地域)のものをできるだけ買うようにする) 続けることで輸出品が買われなくなると輸入したものが減り、送料運ぶ必要がなくなる。(外国→日本)をして、運ぶための船や航空機なども減り、CO<sub>2</sub>排出量が少なくなる。  
産地を確認する  
日本の生産者が困らない

まとめる  
5分

・類似の課題を設定した生徒を3~4人ずつのグループに分け、自分たちにできることを考えさせる。

・長期的に行うことができる工夫、誰でも取り組みやすい工夫の視点をもたせて考えさせる。

・「環境や社会をよりよくすることにつながるか」の視点をもたせて考えさせる。

・一人ずつ意見を発表し、共有を図る。

・自分が思いつかなかった意見は赤色でワークシートに記入させる。

○思②(ワークシート)

・出た意見を黒板に貼り、発表させる。

・日常の生活にSDGsが関わっていることを伝える。

・発表を聞いて、今後の生活に生かせることを考えさせる。

○主①(ワークシート)

